施策・指標マップ

番号	A　個別施策
1	【保護者に対する相談支援】 ・小児救急電話相談（#8000）による子どもの急病時の相談支援 ・医療機関の適正な利用に関する普及啓発
2	【小児医療体制の充実】 ・医師修学資金の貸与 ・かかりつけ医に対する研修の充実 ・休日夜間等の初期救急医療体制の充実 ・小児医療協議会において搬送及び受入体制の検討 ・＃8000事業よる子どもの急病時の相談支援（再掲） ・子どもの心の診療を担う専門医の充実及び小児科医等に対する研修の実施、母子保健関係者等との連携強化
3	【小児在宅医療体制の充実】 ・小児在宅医療の連携のあり方を検討する ・小児在宅医療に関わる多職種に対する研修会の実施 ・医療的ケア児への支援を行う人材の養成

番号		B　目標	
1	【保護者が安心して相談できる】		現状
	指標	かかりつけ医受診率	27.8% （R3）
	指標	小児救急電話相談の相談件数	9,529件 （R4）
2	【適切な受診行動をとることができる】		現状
	指標	高度専門小児医療機関における時間外の患者数	4,702人 （R4）
3	【一般小児医療を支える体制がある】		現状
	指標	小児科医数	196人 （R2）
4	【円滑で適切な小児救急医療体制が確立できている】		現状
	指標	小児救急搬送事例のうち受入困難事例の割合 （現場滞在時間が30分以上の割合）	2.0% （R4）
	指標	小児救急搬送事例のうち受入困難事例の割合 （受入照会回数４回以上の割合）	2.5% （R4）
5	【医療的ケア児へ支援を行う体制がある】		現状
	指標	小児の訪問看護利用者数	1,287人 （R4.6）

番号		C　目的	
1	【安心して産み育てられる小児医療体制の構築】		現状
	指標	小児死亡率 （小児人口千人対）	0.17 （H29～R3の平均）